

令和2年9月市議会定例会

決算特別委員会資料

(2～6ページ) 令和元年度港湾空港局所管決算の概要

議案番号	件名
第101号	令和元年度 一般会計決算(港湾空港局所管分)
第108号	令和元年度 港湾整備特別会計決算
第117号	令和元年度 空港関連用地整備特別会計決算
第119号	令和元年度 臨海部産業用地貸付特別会計決算
第121号	令和元年度 市民太陽光発電所特別会計決算

(7ページ) 指定管理者の管理運営に対する評価結果

港 湾 空 港 局

令和元年度 港湾空港局所管決算の概要

(単位：千円)

会 計		予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
一 般 会 計	2款 総務費 (港湾空港局所管分)	1,028,711	952,322	0	76,389
	10款 港湾費	10,029,550	6,590,710	2,303,015	1,135,825
	小 計	11,058,261	7,543,032	2,303,015	1,212,214
特 別 会 計	港湾整備特別会計	4,951,000	4,353,991	361,922	235,087
	空港関連用地整備 特別会計	6,900	758	0	6,142
	臨海部産業用地貸付 特別会計	430,700	427,221	0	3,479
	市民太陽光発電所 特別会計	87,500	78,908	0	8,592
	小 計	5,476,100	4,860,878	361,922	253,300
合 計		16,534,361	12,403,910	2,664,937	1,465,514

※決算額は、千円未満を四捨五入して算出したもの。

1 一般会計

(1) 歳入決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	差引 (B) - (A)
12,596,742	8,902,503	8,791,250	△3,805,492

(2) 歳出決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額(C)	不用額(A) - (B) - (C)
11,058,261	7,543,032	2,303,015	1,212,214

(3) 主要施策

- ① 北九州空港の新規路線に係る集客・PRの実施、既存定期路線の維持・拡充に取り組むとともに、空港アクセス手段であるエアポートバスの利便性向上に努めた。
(695,232 千円)
- ② 北九州空港の貨物拠点化・滑走路延伸の実現に向け、集貨や貨物便の誘致活動に取り組んだ。また、通関に係る助成を実施した。
(198,604 千円)
- ③ クルーズ船の誘致を図るため、船社等へのセールス・PR活動を行った。また、クルーズ船寄港時には各種安全対策を実施するとともに、クルー・乗客向けの体験型おもてなしを実施した。
(67,924 千円)
- ④ 北九州港開港130周年を記念して、式典や市民との協働イベントを開催した。また、港の賑わい創出のため、北九州港内で開催された花火大会を支援したほか、門司区西海岸エリア一帯の観光施設を「みなとオアシス」として登録した。
(35,256 千円)
- ⑤ 北九州港の利用促進を図るため、航路誘致や集貨営業活動を行った。また、東京でセミナーを開催するなど官民一体となったプロモーション活動を実施したほか、ウェブサイト等を活用して情報発信を行った。
(18,706 千円)
- ⑥ RORO 航路誘致のため営業活動を行うとともに、新規航路の安定化・利用促進のための助成を行った。
(6,720 千円)
- ⑦ 港湾施設を安全に利用してもらうため、港湾施設の維持補修を実施したほか、新門司北地区において泊地の浚渫を行った。
(319,800 千円)

- ⑧ 利用者の安全確保及び施設の延命化等のため、太刀浦地区の橋りょう改良工事等を実施した。 (89,713 千円)
- ⑨ 響灘東地区等において、主要臨港道路の安全を確保するため、中央分離帯の舗装化やアスファルト舗装の打替え工事を実施した。 (40,000 千円)
- ⑩ 響灘東地区において、浚渫土砂や廃棄物の最終処分場を整備するための護岸工事やケーソン等の製作を行った。 (1,071,884 千円)
- ⑪ 白野江地区及び新門司北地区において、高潮による災害から市民の生命や財産を守るため、護岸工事を実施した。 (404,634 千円)
- ⑫ 風力発電関連産業の総合拠点形成を目指し、産業集積を促進するための誘致活動や市場開拓のための関係自治体等との意見交換を実施した。 (5,040 千円)
- ⑬ 洋上ウインドファームの建設に必要な基地港湾の整備に向け、ヤードの実施設計を行い工事に着手した。 (144,989 千円)
- ⑭ 洋上ウインドファームの建設時に使用する特殊作業船（SEP：Self-Elevating-platform）の基地化に向け、調査・検討を行った。 (16,000 千円)
- ⑮ 新門司北地区や響灘東地区における企業進出に伴い、舗装工事や雨水排水工事等の基盤整備を行った。 (248,790 千円)

（４）三セク債の償還等について

○令和元年度、三セク債の元金分として 20 億円を償還した。その結果、令和元年度末の三セク債残高は 323 億円となった。

○三セク債等の元利償還額 24 億円に対し、分譲地の売払等の収入は 28 億円であり、4 億円のプラスとなった。これに、企業進出に伴うインフラ整備費 2.5 億円を差し引くと、令和元年度単年度では、一般会計の負担は生じない結果となった。

2 港湾整備特別会計

(1) 歳入決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	差引(B) - (A)
4,951,000	6,991,096	6,963,895	2,012,895

(2) 歳出決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額(C)	不用額(A) - (B) - (C)
4,951,000	4,353,991	361,922	235,087

(3) 主要施策

- ①コンテナターミナルの利用促進と広域からの集貨を図るため、船会社等を対象に助成を行った。(24,633 千円)
- ②公共上屋の長寿命化を図るため、日明地区の老朽化した上屋のうち 1 棟について改良工事を実施した。(48,291 千円)
- ③太刀浦コンテナターミナルにおける荷役作業の安全性を確保し、荷役効率を向上させるため、埠頭用地の舗装工事等を実施した。(159,061 千円)
- ④新門司北地区における新たなフェリー航路の就航に向けて、埠頭用地の地盤改良工事等を実施した。(107,072 千円)

3 空港関連用地整備特別会計

(1) 歳入決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	差引 (B) - (A)
6,900	24,381	24,381	17,481

(2) 歳出決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額(C)	不用額(A) - (B) - (C)
6,900	758	0	6,142

(3) 主要施策

北九州空港関連用地への企業立地促進のため、除草作業等を実施した。

空港関連用地整備事業費 (733 千円)

公債償還特別会計繰出金 (25 千円)

4 臨海部産業用地貸付特別会計

(1) 歳入決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	差引 (B) - (A)
430,700	427,221	427,221	△3,479

(2) 歳出決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額(C)	不用額(A) - (B) - (C)
430,700	427,221	0	3,479

(3) 主要施策

臨海部産業用地の貸付事業を実施し、その貸付収入を一般会計に償還した。

一般会計借入金償還金 (427,221 千円)

5 市民太陽光発電所特別会計

(1) 歳入決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	差引 (B) - (A)
87,500	243,205	243,205	155,705

(2) 歳出決算額 (単位：千円)

予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額(C)	不用額(A) - (B) - (C)
87,500	78,908	0	8,592

(3) 主要施策

市民・地元産業界・行政が一体となって、市制50周年記念事業として建設した市民太陽光発電所の維持管理を行うとともに、発電収入を活用して、市民生活の向上に繋がる「市民還元事業」を実施した。

発電所管理費 (17,294 千円)
一般会計繰出金(市民還元事業に充当) (35,660 千円)
公債償還特別会計繰出金 (25,954 千円)

令和2年度 指定管理者の管理運営に対する評価結果について

【多段階評価 1件】

施設名	指定管理者	指定期間	評価ランク (合計得点)
北九州港港湾施設 (門司地区)	北九州埠頭株式会社	平成30年4月1日 ～令和5年3月31日	C (65点)

【ランク設定】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる（合計80点以上）
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる（合計得点が70点以上80点未満）
- C：総合評価の結果、適正であると認められる（合計得点が60点以上70点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる（合計得点が50点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる（合計得点が50点未満）